

(資料提供)

月 日	担当館名	電話	担当者
4月16日(火)	徳島県立近代美術館	phone:088-668-1088 fax:088-668-7198	吉原美恵子、吉川神津夫 江川佳秀

「所蔵作品展 徳島のコレクション 2019年度第1期」の開催について

## 1. 趣旨

今回の特集は「新収蔵作品を中心に」と題して、2018年度に新しく収蔵された作品を既に収蔵していた作品とともに、ご紹介します。

金田実生(1963-)の「**真実の肌ざわり**」は、虚実の狭間で複雑に揺れる心情や、真実に目を向けようとするときに味わう困難など、身体の奥深くに湧き上がる思いを描き、観る人の内なる感情に向き合わせる作品です。具体的なかたちが見えない主題を、人を描くことで表しつつ、観る人に伝わる何かがあればと、作者は期待を寄せています。

倉地比沙支(1961-)の「**scem12-a**」は、版画技法の多様さを知る上でも興味深い作品ですが、「人間表現」として考えてみると、表されたイメージの不思議さに惹かれます。

安齊重男(1939年-)の「**松谷武判 2010年2月6日 鎌倉**」は、パリ在住の現代美術家である松谷武判の鎌倉での個展に際して行われたパフォーマンスの光景を撮した写真作品です。既収蔵の安齊の作品と並置することにより、コレクションを充実させることに加えて、版画作品を収集している松谷武判の制作の幅を知り、既収蔵の作品への理解も深めていただけることでしょう。

「20世紀の人間像」では、パブロ・ピカソ<ドラ・マールの肖像>、パウル・クレー<子供と伯母>などのコレクションの中心となる名品の数々を展覧します。

「現代版画」のコーナーでは、「版画集を見る」として、今期は3回に分けて、鬚嘔、浜田知明、高橋秀の版画集を、順次ご覧頂きます。

「徳島ゆかりの美術」のコーナーでは、昨年度に新しく加わった作品や遺品を中心に、原鵬雲、廣島晃甫、日下八光、伊原宇三郎、石丸一の5人の画家をご紹介します。

## 2. 会期：2019年4月20日(土)－7月7日(日)

現代版画

版画集を見る1 4月20日[土]－5月12日[日]

版画集を見る2 5月14日[火]－6月9日[日]

版画集を見る3 6月11日[火]－7月7日[日]

## 3. 会場：徳島県立近代美術館 展示室1、2、屋外展示場、美術館ロビーほか

## 4. 主催：徳島県立近代美術館

## 5. 開館時間：午前9時30分-午後5時

## 6. 休館日：毎週月曜日(4月29日、5月6日を除く)、5月7日

## 7. 観覧料：一般 200円 [160円] / 高・大生 100円 [80円] / 小・中生 50円 [40円] [ ] 内は20名以上の場合

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示いただいた方との介助をされる方1名は観覧料が無料になります。

65歳以上の方で証明できるものをご提示いただいた方は無料になります。

小・中・高生は、土・日・祝日・振替休日の観覧料が無料になります。

大学生・一般は、祝日および振替休日の所蔵作品展の観覧料が無料になります。

## 8. 関連行事

### ・展示解説

「新収蔵のコレクション」

日時：5月3日[金・祝] 14時から14時45分

講師：吉原美恵子[上席学芸員]

会場：展示室1 \*祝日につき観覧は無料

日時：6月16日[日] 14時から14時45分

講師：吉原美恵子[上席学芸員]

会場：展示室1 \*要観覧券

### ・こども鑑賞クラブ

「新しいコレクション」

日時：7月6日[土] 14時から14時45分

講師：当館学芸員ほか

会場：展示室1,2 \*保護者については要観覧券

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。必要な場合はご連絡ください。  
提供方法は、画像データの提供となります。使用にあたっては、「作者名」、「作品名」、「徳島県立近代美術館蔵」の3点を明示してください。

作者名：金田実生

作品名：真実の肌ざわり

制作年：2004年

技法材質：油彩 キャンバス

所蔵：徳島県立近代美術館



作者名：倉地比沙支

作品名：seem12-a

制作年：2012年

技法材質：コットン紙に出力、UVメディウム、手彩

所蔵：徳島県立近代美術館

